

令和6年度第1回白河市行政改革推進委員会（要旨）

日時	令和6年6月5日（水）13時30分～15時00分
場所	301会議室
出席者	委員5名 小林 知二委員長、鈴木 富幸委員、井上 竜一委員、 和知 玲子委員、金内 貴弘委員
事務局	3名 田崎課長、鈴木係長、大森副主査
内容	<p>1 開会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>（1）令和5年度第3回行政改革推進委員会での後日回答分について て 【事務局より説明】</p> <p>○委員 白河市未来ノートを必要とする年代の人たちは、まずホームページは確認しない。 窓口で配布しているといってもそのこと自体知らないと思うので、周知方法を工夫する必要があるのではないか。</p> <p>○事務局 対象の年齢になったら届けるなどの工夫をしていく必要があると思われるので、担当課にも話をつなぐ。</p> <p>○委員 町内会や白寿会の見守り制度や市内を回っている「ちりんこ号」を利用するのも一つの方法だと思う。</p> <p>（2）令和5年度の主な取組状況について 【事務局より説明】</p> <p>○委員 南湖係を新設した目的はどういったものか。</p>

○事務局

新しいものを作るというよりも交通規制や街灯などについて検討している。南湖公園は文化財であるため、開発も計画を立てて行っていかねばならない。また、今年度より文化財課を本庁に移して話し合いをしやすい環境を整えた。

○委員

観光地として人を集める工夫をしているということでしょうか。

○事務局

白河の関、小峰城、南湖を中心とし、南湖の魅力はもっとブラッシュアップしていくところがあるということで取組を行っている。

○委員

その3つは離れた場所にあるため、バスや車を利用しないと回れない。ただ、小峰城については駅から近いので、そこを起点として街中を回遊するような観光資源があるとよい。

○委員

南湖は杭一本を抜くにも文化庁の許可がいる。SHOZO カフェなどが入ってきて集客力もあり、専門の係が作られたということで期待したい。散策するにも車が通っていると歩きにくいので、そこが改善されれば観光の面だけでなく、散歩コースとして市民の健康増進も図ることができると思う。また、観光ステーションにはあまり人が来ていないようで心配している。

○委員

来る人は何度か来ていたりするが、全体として来客数は少ないようである。観光ステーションでは観光名所のデータが見れるようになっていたりするが、それがスマホでも見れるようになったりすると回遊もしやすくなるのではないかと思う。

○事務局

補足だが、白河駅で降りる人も少ないので、南湖へは車で来てもらい、そこから散策してもらうことが主になると思われる。

○委員

削ることばかりが行革ではないので、削減した財源をどこに回すかも重要である。機械を導入したことによる残業時間の削減等の実績はアピールポイントにもなるので、次回わかる範囲で資料を用意してほしい。

○事務局

資料について了解した。

情報政策課ではさまざまなツールを導入しているが、自分の業務にどう落とし込んでよいか分からないことが多い。そのため、若い職員を中心に IT リテラシー研修等を行って勉強する場を設けている。また、新しいツールを使うとなると最初に使い方を覚えるのに時間がかかってしまうので、そこも課題となっている。

○委員

費用対効果が重要であると思う。ツールを導入することにより楽になる部分と、使い方を覚えるのにかかる時間を比較するのが大事である。また、先進自治体と情報交換するのもよいのではないかと思う。

○事務局

例えば電子決裁の導入時には先進自治体の視察を行い、その中で紙の削減実績なども確認した。人口減少の危機を乗り切るには広域化と DX が大事だといわれている。ただ、DX については、取組を始めたばかりでまだまだこれからだという自治体が多いため、先進自治体を視察しようにも、よい視察先が見つからないのがネックになっている。

なお、白河市では昨年 10 月から電子決裁を導入したが、コピー用紙の削減率は約 6% となっている。

○委員

ラクリエーションプラスの利用者数が伸びていないと聞いた。

○委員

同じ施設を利用している立場からだと、決して利用者が減っているわけではないように見える。起業した人が事務所として利用したいという申請は増えてきており、勉強場所として高校生がロビーを利用していることもある。ただ、駅から遠いこともあり、利用者数が伸びないのは元々の場所の問題もある。

○委員

例えば学生や高齢者も使えるようにするなど、対象者の範囲を広げて利活用を図るのも一つの手だと思う。

○委員

補助金関係で、新規、廃止がわかる資料を次回用意してほしい。

○事務局

了解した。

(3) その他

○委員

カスハラ対策について、名乗るならきちんと対応するなど、対応方針を決めておかないと業務に支障を来す恐れがあると思う。

○事務局

市民からの意見が業務改善につながることや、受け手側の感覚の問題もあり、カスハラとの線引きが難しい。1人だけでなく上司等も一緒に対応することも大事だと考えている。また、3回以上同じことを言った、1時間以上対応したなどのカスハラの明確な基準を作る必要性も感じており、その基準を市民の皆様にも知ってもらうことも必要だと考えている。

他の取組としては、職員の名前が SNS にさらされたり、職員の SNS が特定されるなどの危険性を考慮して、6月1日から名札を名字だけに変更している。

○委員

紙の保険証はまだ発行しているのか。

○事務局

市が作成するものだと、国民健康保険になると思うが、今のところこれまでどおり紙で発行している。

【次回のスケジュール及び議題について事務局より説明】

4 閉 会